

いのちのたび

〒805-0071 北九州市八幡東区東田二丁目4番1号
Tel 681-1011 Fax 661-7503
https://www.kmnh.jp/
発行：いのちのたび博物館 ミュージアムティーチャー



こんにちは、皆さんは夏をどのように過ごしますか。今回の特別展は、皆さんが好きな夏にふさわしい昆虫がテーマです。また、いのちのたび博物館は開館から20周年を迎えます。私たちは20回目の夏において、宝石のように美しいものや変わった形のものなど、さまざまな視点から楽しんでいただける昆虫を展示しますので、ぜひ見に来てくださいね。

開館20周年記念 夏の特別展「昆虫博 2022」



ヘラクレスオオカブトムシをはじめとした世界の大カブトムシを生きのまま展示します。



いろいろな種類のクワガタムシの標本と生きた個体を展示します。



きれいなチョウのコレクションもあるよ!



でこぼこのあるもの、キラキラ輝くもの、世界中のオサムシを展示します。



巨大なものやきらきら光るものなど、さまざまなフンコロガシを見ることができます。



※7月31日(日)、8月21日(日)は、わくわく体験プログラム「化石レプリカを作ってみよう!!」を実施します。

(詳しくは、博物館ホームページでお知らせいたします。)



体験学習

博物館での新しい「体験学習プログラム」をご紹介します。

(事前申込が必要ですので、ご希望の場合は、あらかじめ博物館へご連絡下さい。)

対象は小学校5年生以上です。)

古銭づくり体験

古代のお金で最も知られる「和同開珎」(飛鳥時代)をその時代の作り方で再現する楽しいプログラムです。作成キットを使い、溶かした合金を鋳型に入れ、短時間で枝銭を作ります。銭貨の歴史を学ぶことで、日本の貨幣経済がどのように進んでいったのかを考えるきっかけとなる体験学習です。



NEW!



ミュージアムのタネ

きたきゅうしゅうし せんそう へいわがくしゅう かんが
北九州市の戦争・平和学習を考える

北九州では小倉城内に軍隊(歩兵第14連隊や第12師団司令部)が置かれ、1933年には西日本最大級の兵器工場(陸軍造兵廠小倉工廠、のち小倉陸軍造兵廠)が開かれました。小倉陸軍造兵廠の敷地面積は約58万㎡(福岡市のベイパイドーム8個分)、第一・第二・第三工場(約300棟)で、最大約4万人が働き、そのなかには学生(特に女子学生)も多くいました。

小倉陸軍造兵廠(砲弾工場)



1944年6月16日(本土初の本格的な空襲)から翌1945年8月8日の八幡大空襲まで、北九州は13回の空襲を受けました。当初は八幡製鐵所や小倉陸軍造兵廠などが爆撃目標でしたが、のちに市民が暮らす市街地の無差別爆撃になりました。13回の空襲で2,452人の死者を出し、大きな被害を受けました。また小倉は原子爆弾の投下目標となりました。小倉陸軍造兵廠があったことが最大の理由です。1945年8月6日の広島原爆の際には小倉が第二目標、8月9日の長崎原爆の際には第一目標でした。

アメリカの爆撃機は3回ほど原爆投下を試みましたが、視界が悪くて果たせず、長崎に目標を変えたのです。もし小倉に原爆が投下されたとしたら、広島や長崎と同様の被害が出て、その後北九州の歴史も大きく変わったと思います。

博物館の企画展「一兵士の日中戦争」(2010年)



小倉の郵便局員の男性と妻の女性が主人公として、男性が女性に送った手紙や、軍隊手帳や地図など男性の遺品を紹介。

博物館の企画展「布がかたる戦争」(2020年)



2010年に北九州市は「非核平和都市宣言」を出し、「私たち北九州市民は、長崎に投下された核兵器の第一目標が小倉であったことを重く受け止め、核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の尊さを、次の世代に伝え、核兵器のない、戦争のない、平和な世界を築いていかなければなりません。」という誓いを表明しました。今年4月に開館した「北九州市平和のまちミュージアム」はこの宣言を実行していく場とすることができます。

私たちの平和学習は、①北九州(小倉)が原爆投下目標となった歴史を学ぶ、②いまもなお世界で戦争がおこなわれている現実を見つめる、③自分が戦争で戦死し/戦死させ、大切な人を失うかもしれない未来を想像する、そういう機会をつくっていくものだと考えます。そういう立場で、博物館では何度か企画展を行ってきました。戦争体験者がますます減っていくなかで、平和のまちミュージアムは戦争体験者の証言や遺された〈モノ〉が発する様々なメッセージを届け、対話を促し、「宣言」の誓いを実行していく場として、重要な役割を担っていきます。

歴史課学芸員 日比野 利信